



---

RACH  
Research Association for Community Health

---

## 監事監査規程



一般社団法人コミュニティヘルス研究機構

## 一般社団法人コミュニティヘルス研究機構職員給与規程

### （目的）

第1条 この規程は、一般社団法人コミュニティヘルス研究機構（以下「機構」という。）の職員の給与に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

### （適用範囲）

第2条 この規程は、機構に常時勤務する職員に適用する。

2 臨時に採用された職員の給与については、代表理事が別に定める。

### （給料）

第3条 給料は、正規の勤務時間による勤務に対する報酬であって、第7条に定める手当を除いたものとする。

### （給料月額）

第4条 次の各号に掲げる職員の給料月額は、当該各号に定める給料表の級及び号俸ごとに給料月額欄に定められている額とする。ただし、これにより難い特別の職員については、代表理事は別段の定めをすることができる。

- (1) 事務職員 静岡県職員の給与に関する条例（昭和28年静岡県条例第31号。以下「静岡県給与条例」という。）別表第1の行政職給料表
- (2) 研究職員 静岡県給与条例別表第2の研究職給料表
- 2 前項の職員の職務の級は、その職員の職務の複雑、困難及び責任の度合いに基づいて別表「標準職務表」により代表理事が定める。
- 3 新たに職員になった者の号俸は、その職員の学歴、職歴、年齢等を考慮して代表理事が定める。

### （昇給等の基準）

第5条 昇給は、代表理事が定める日に、当該定める日前1年間におけるその者の勤務成績に応じて行うものとする。

- 2 職員が現に受けている号俸を受けるに至ったときから同日前1年間を良好な成績で勤務した職員を昇給させる場合の号俸数は4号俸（事務職給料表7級以上の者及び研究職給料表5級の者は3号俸）とする。
- 3 職員の昇給は、その属する職務の級における最高の号俸を超えて行うことはできない。
- 4 職員の昇給は、予算の範囲内で行わなければならない。
- 5 代表理事は、前各項の取扱いにより難い特別の事由があるときは、別段の定めをすることができる。

### **（給料の支給方法）**

第6条 給料の計算期間は、月の初日から末日までとし、その支給日は20日とする。ただし、支給日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日、土曜日又は日曜日に当たるときは、その前日とする。

### **（手当）**

第7条 職員に対する手当は、扶養手当、地域手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、休日勤務手当、管理職手当、単身赴任手当、寒冷地手当、期末手当及び勤勉手当とする。

2 前項の手当の支給額及び支給方法は、次条に定めるもののほか、静岡県職員の例による。

### **（管理職手当）**

第8条 管理職手当は、管理又は監督の地位にある職員の職のうち、その特殊性に基づき代表理事が別に指定する職にある職員に対して支給する。

2 管理職手当の月額、代表理事が別に定める額とする。

### **（時間外勤務手当等に関する規定の適用除外）**

第9条 前条第1項の規定により指定する職にある職員には、時間外勤務手当及び休日勤務手当は支給しない。

### **（給与の減額）**

第10条 職員が勤務しないときは、その勤務しないことにつき、代表理事の承認があった場合を除くほか、静岡県職員の例により、その給与を減額する。

### **（休職者の給与）**

第11条 職員が業務上負傷し、又は疾病にかかり休職を命ぜられたときは、その休職の期間中の給与は静岡県職員の例による。

### **（停職者の給与）**

第12条 職員が就業規程第56条第1項第3号の出勤停止の処分を受けたときは、停職の期間中いかなる給与も支給されない。

附 則 この規程は、平成29年3月25日から施行する。

## 別表 標準職務表

### ア 事務職標準職務表

区分	標準的な職務
1 級	定型的な業務の補助を行う職務
2 級	定型的な業務を行う職務
3 級	中程度の知識又は経験を必要とする業務を行う職務
4 級	高度な知識または経験を必要とする業務を行う職務
5 級	課長補佐の業務を行う職務
6 級	高度な知識及び経験を要する業務を処理する課長補佐または課長の職務
7 級	高度な知識及び経験を要する業務を処理する課長または参事の職務
8 級	高度な知識及び経験を要する職務を処理する参事の職務
9 級	事務局次長の職務
10 級	事務局長の職務

### イ 研究職標準職務表

区分	標準的な職務
1 級	上級の研究員の指揮監督の下に補助的研究業務を行う研究補助員の職務
2 級	上級の研究員の概括的な指導の下に研究を行う研究員の職務
3 級	上級の研究員の概括的な指導の下に研究を行い、また研究の調整を行う研究員の業務
4 級	知識経験に基づき研究を独立して行い、また相当の範囲の研究の調整を行う研究員の職務
5 級	高度の知識経験に基づき困難な研究を独立して行い、また指導を行う研究員の職務
6 級	極めて高度の知識経験に基づき特に困難な研究を独立して行い、また相当の範囲の研究の総括、調整、指導を行う研究員の職務